

寝取らせ...

堕ちて...堕ちて...そして...

2

61P

みきこまち





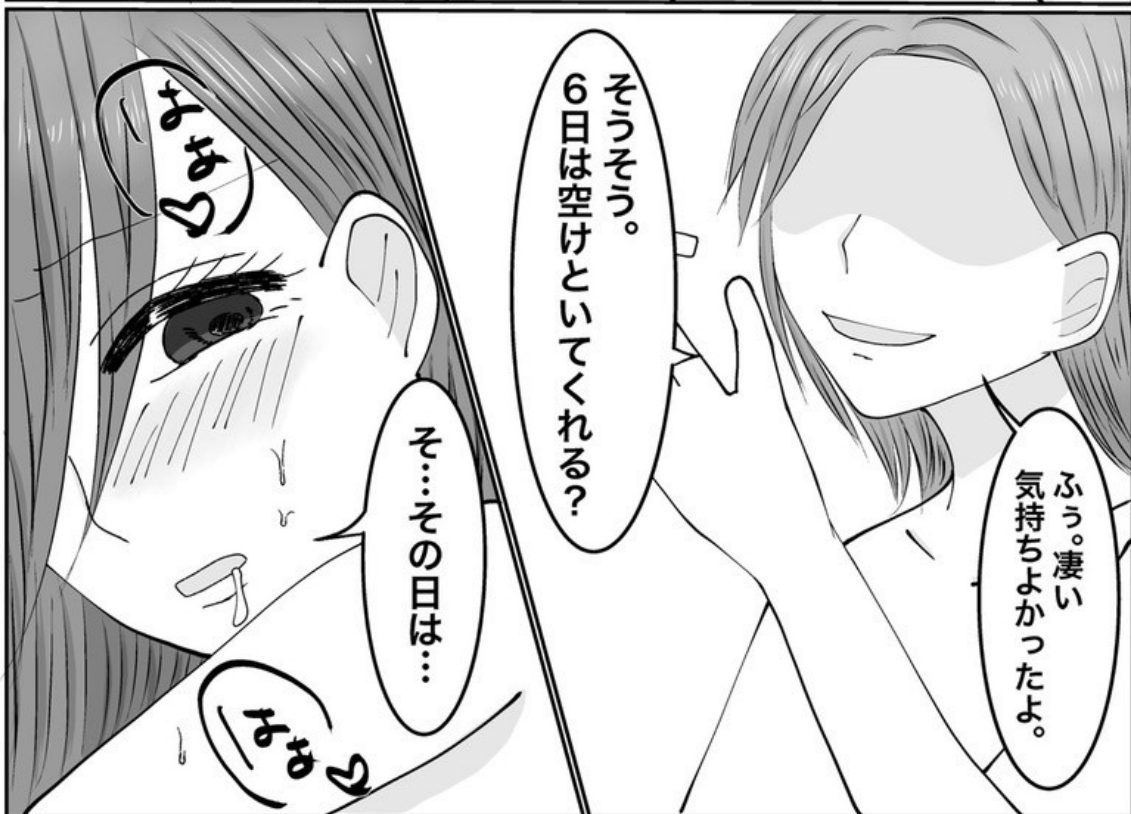
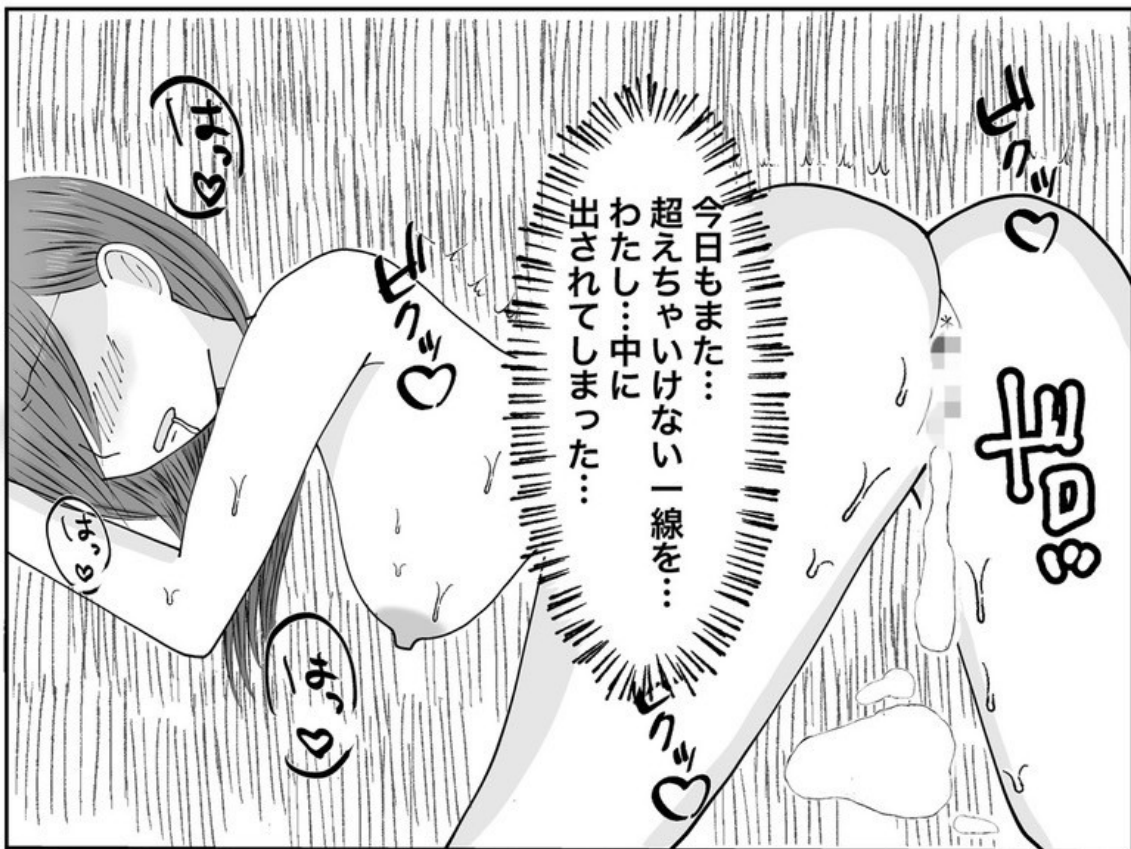


な、中は…
中はだめえっ!!

ほらほら!
中に出すよっ!

さすがに中出しは
懇願しないか。

今更遅いよっ!





ということで、その日は
奥さんを夜にお借りしますが
よろしいですね？

くくく。それは楽しみにお待ちください。
あ、そうそう。旦那さん、プロポーズは
どんな感じだったんですか？

あ…はい…。
まさか結婚記念日に…。
その日はどんなことを？





ー 当日 ー

胸元の空いている
短めなワンピース。

うん。
ちよつと派手すぎたかな？

妻はこんな格好をしたことが
あっただろうか。

俺はこれまでに見たことのない
妻の変わりゆく姿に
思わず見惚れていた。





今日はなんだか大事な取引先の
社長さんみたいで…。
記念日なのにごめんね…。

いいんだよ。大事な取引先なんだから？
仕方ないさ。子供たちは任せておいて。
気をつけて行ってらっしゃい。

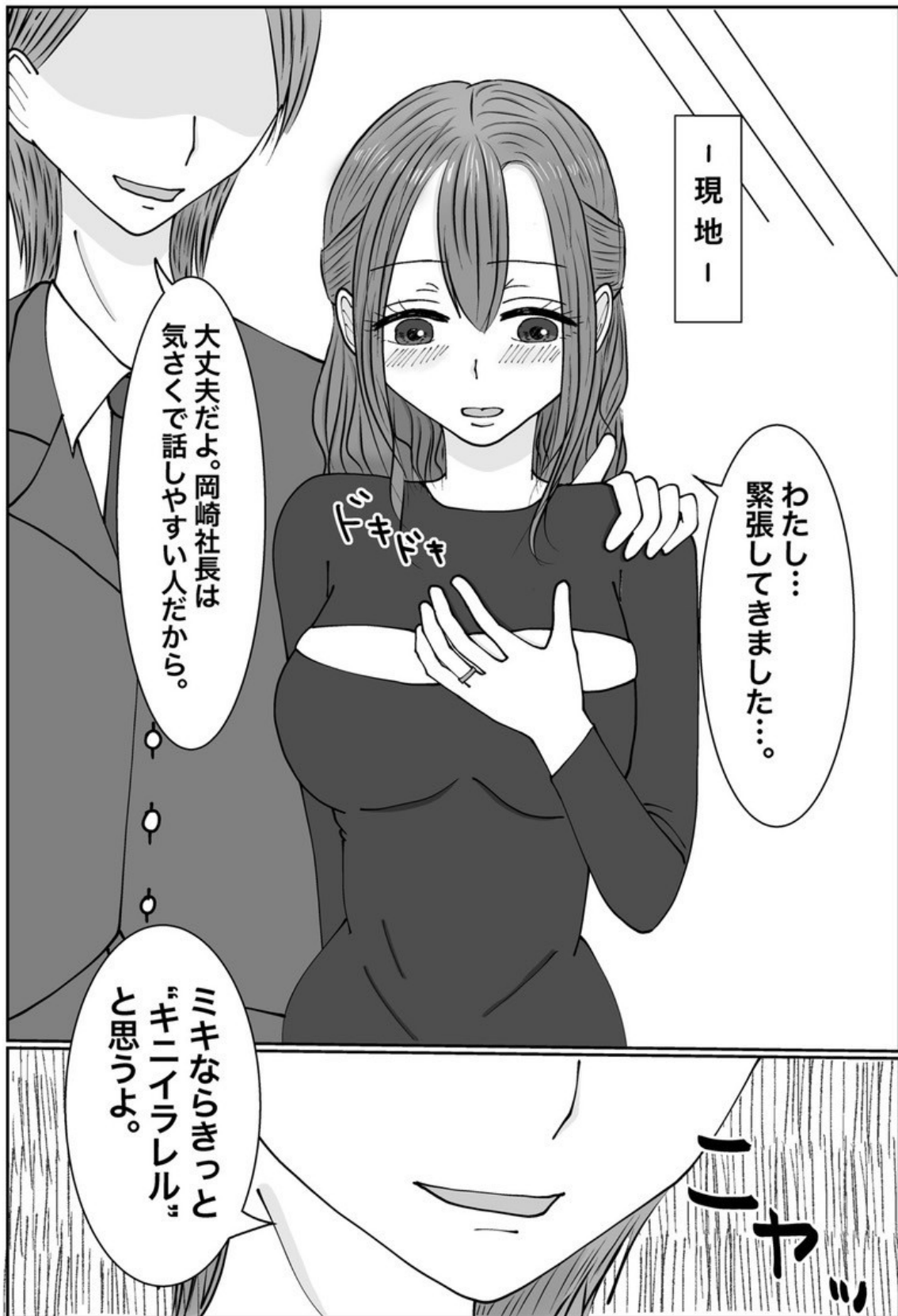


今ならまだ
引き止められるんじゃないや…。

そんな風に思いながらも、
結局妻を見送り、

玄関の閉まる音は
いつもより
長く聞こえた。

カッパカッパ





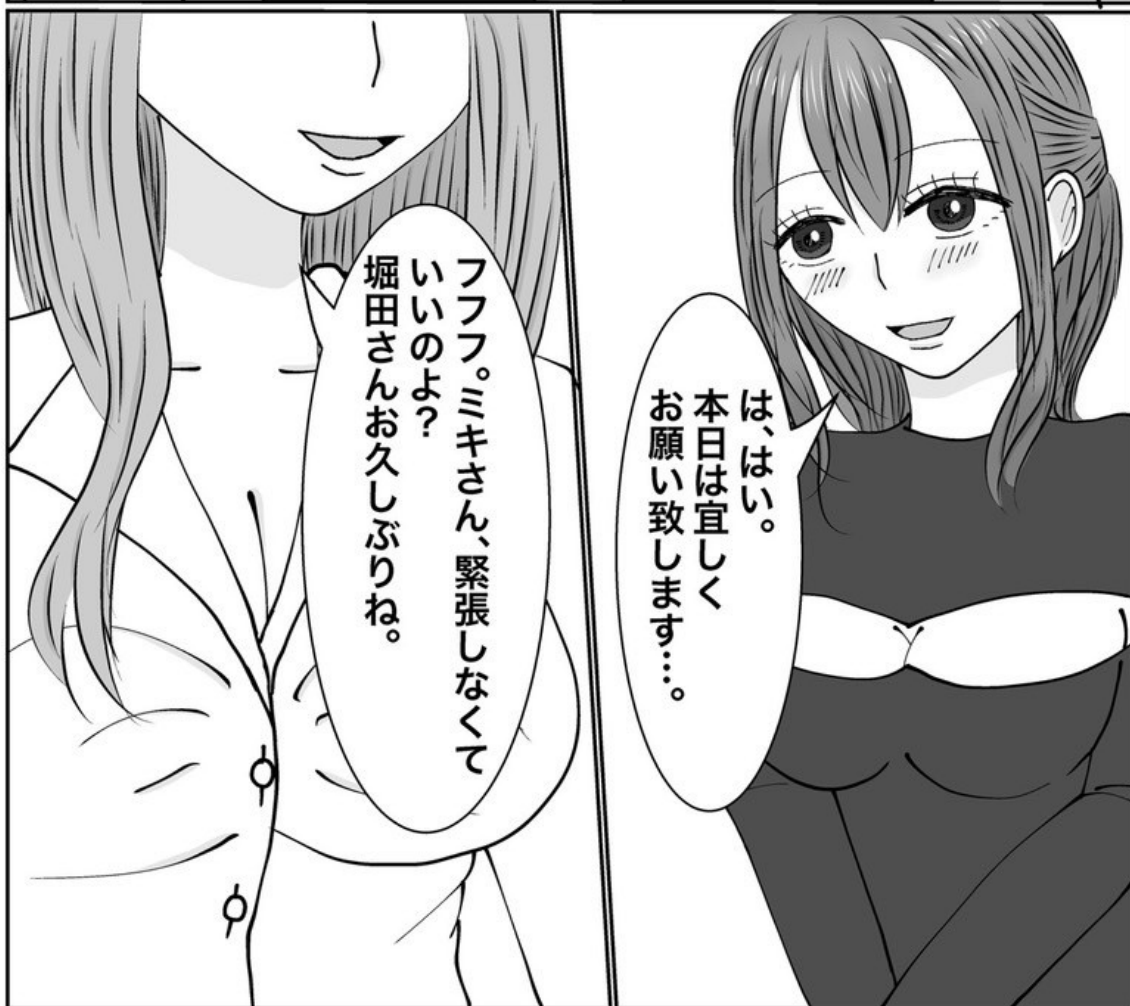
本日4名で予約を入れた堀田です。

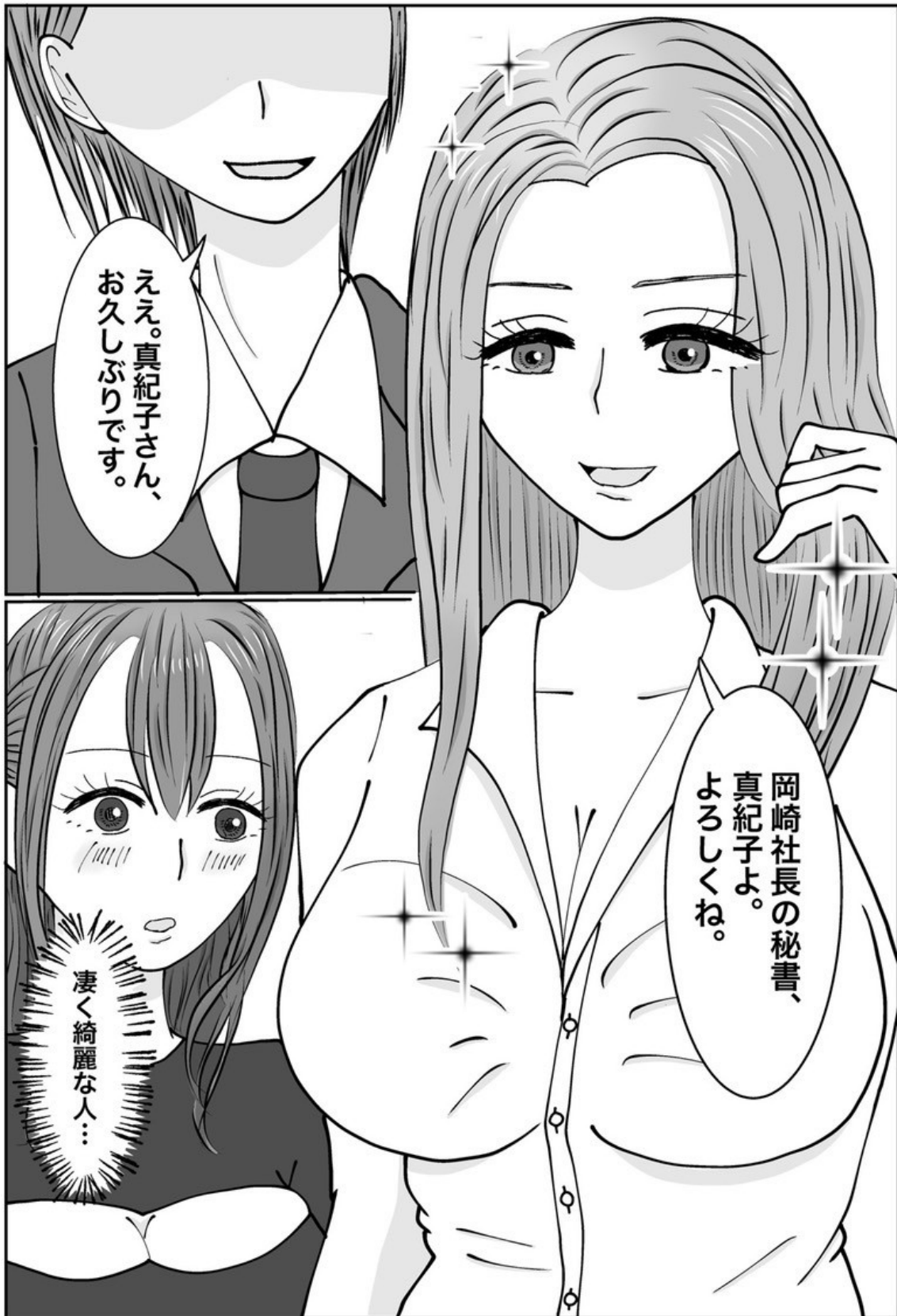
お待ちしております。
こちらへどうぞ。

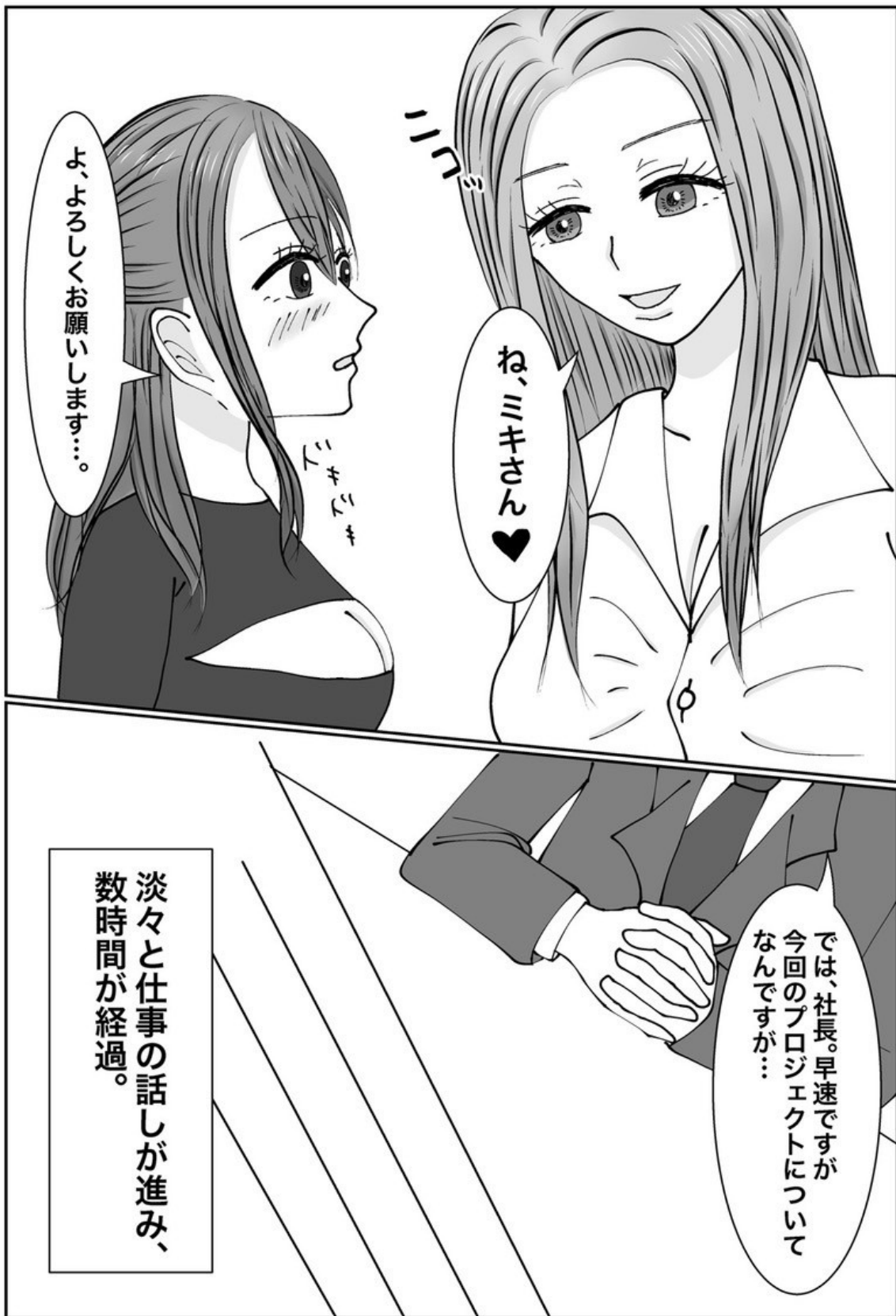
おい、堀田くん、
こっちだ。

ガラッ









よろしくお願いします…。

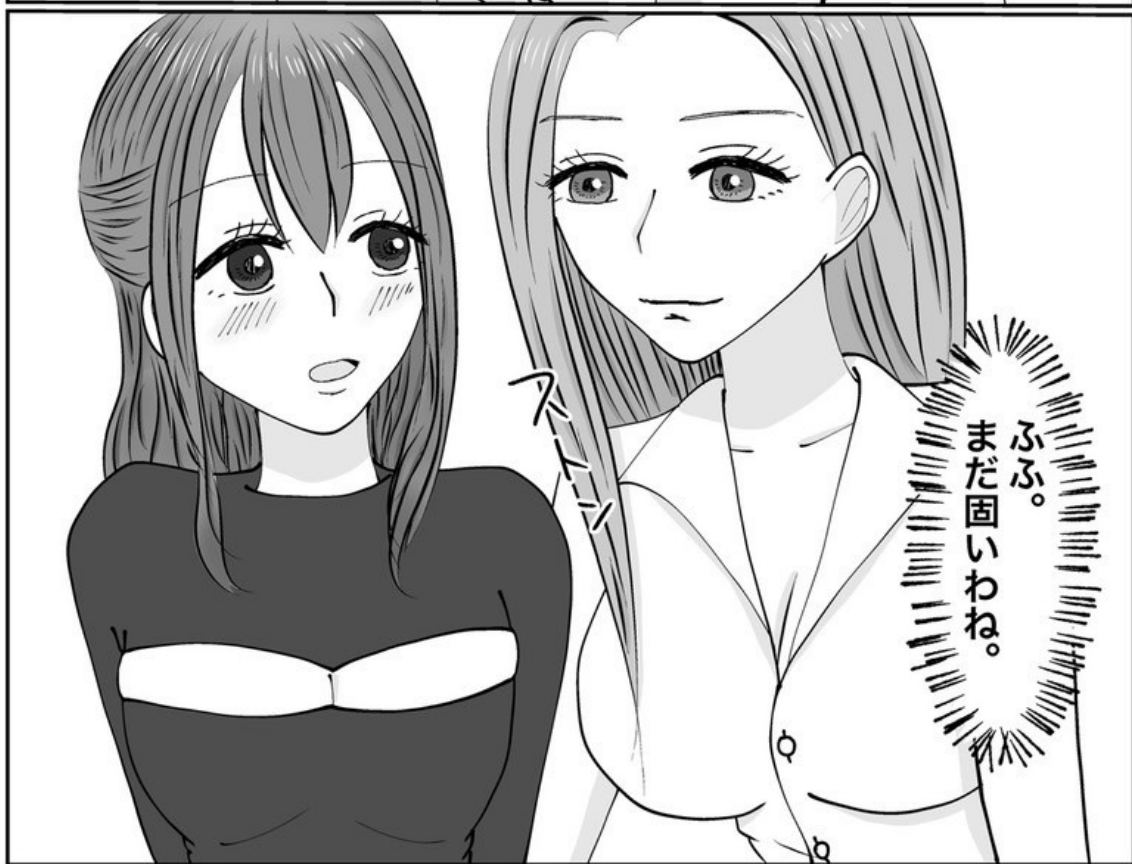
ツキ
ツキ
ツキ

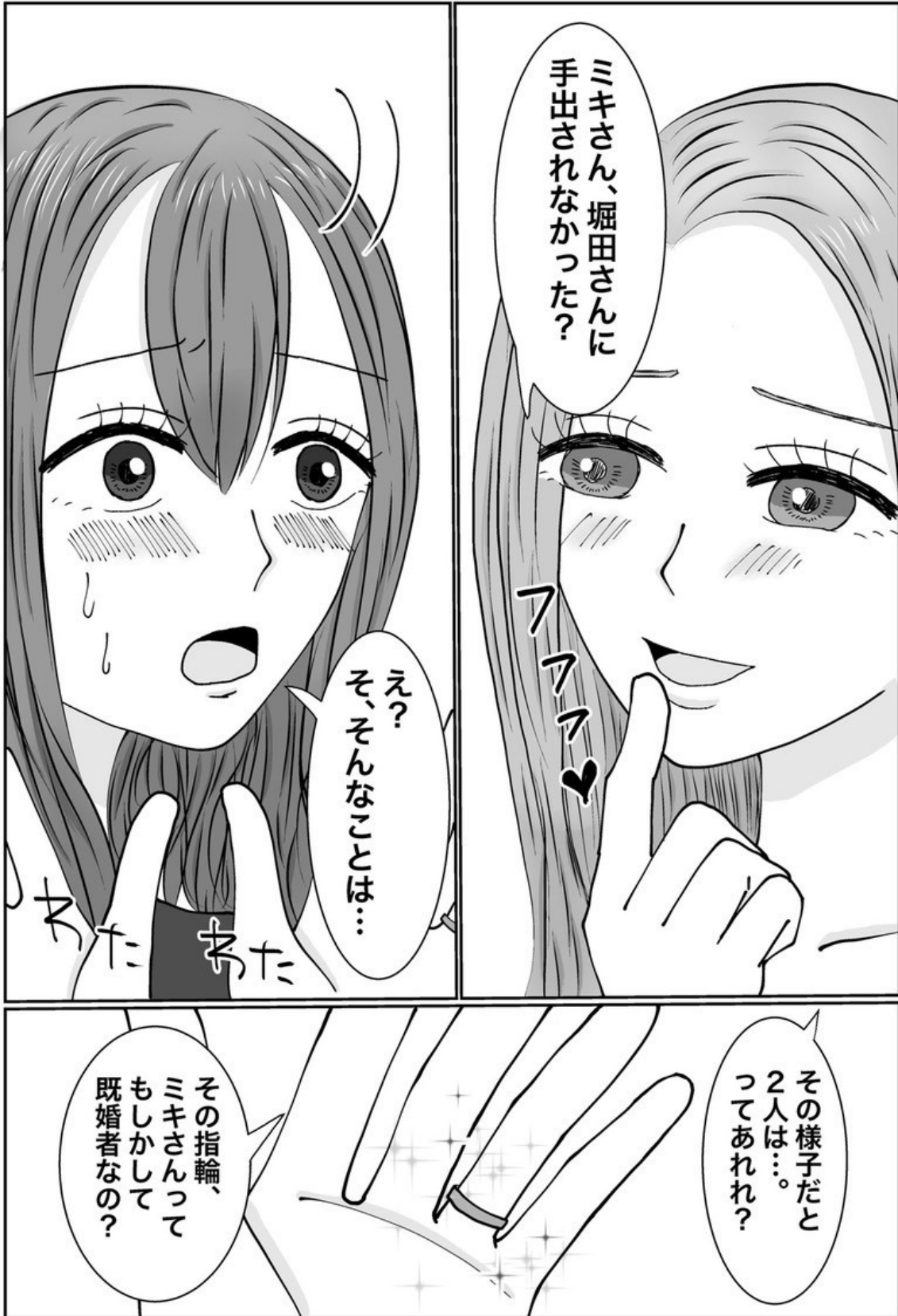
ね、ミキさん♡

では、社長。早速ですが
今回のプロジェクトについて
なんですが…

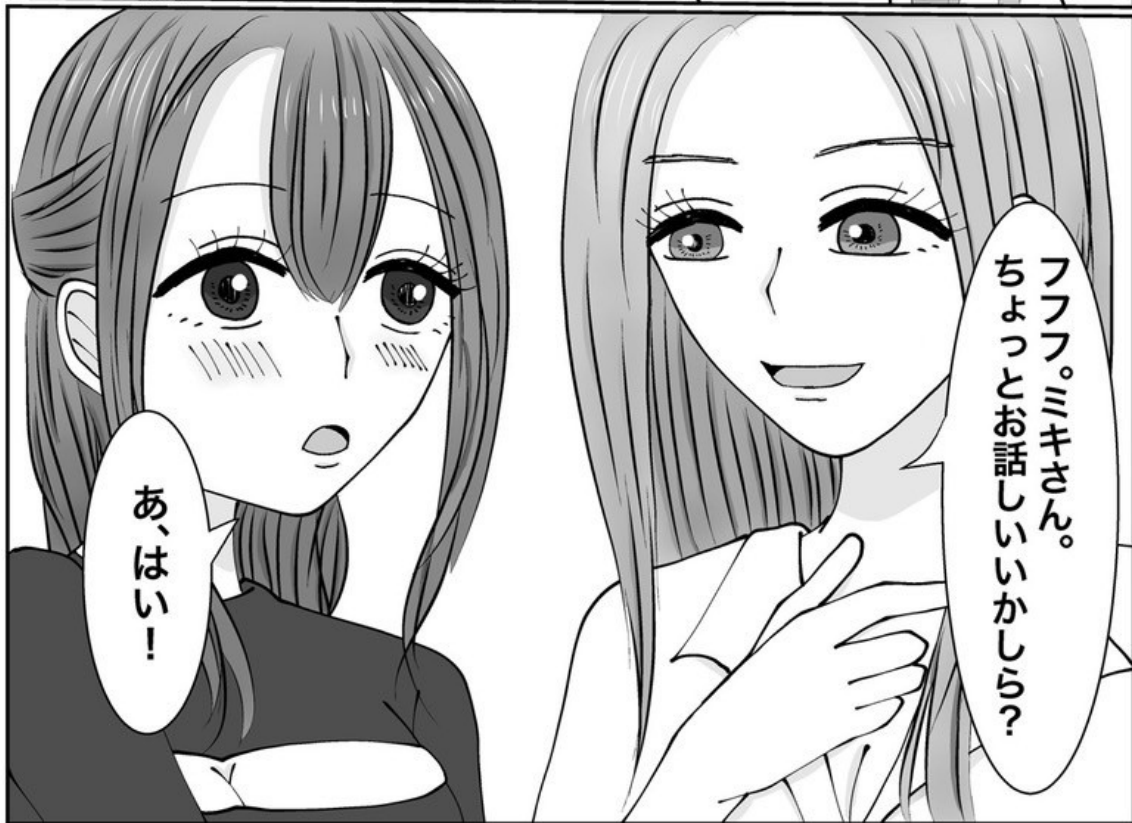
淡々と仕事の話が進み、
数時間が経過。

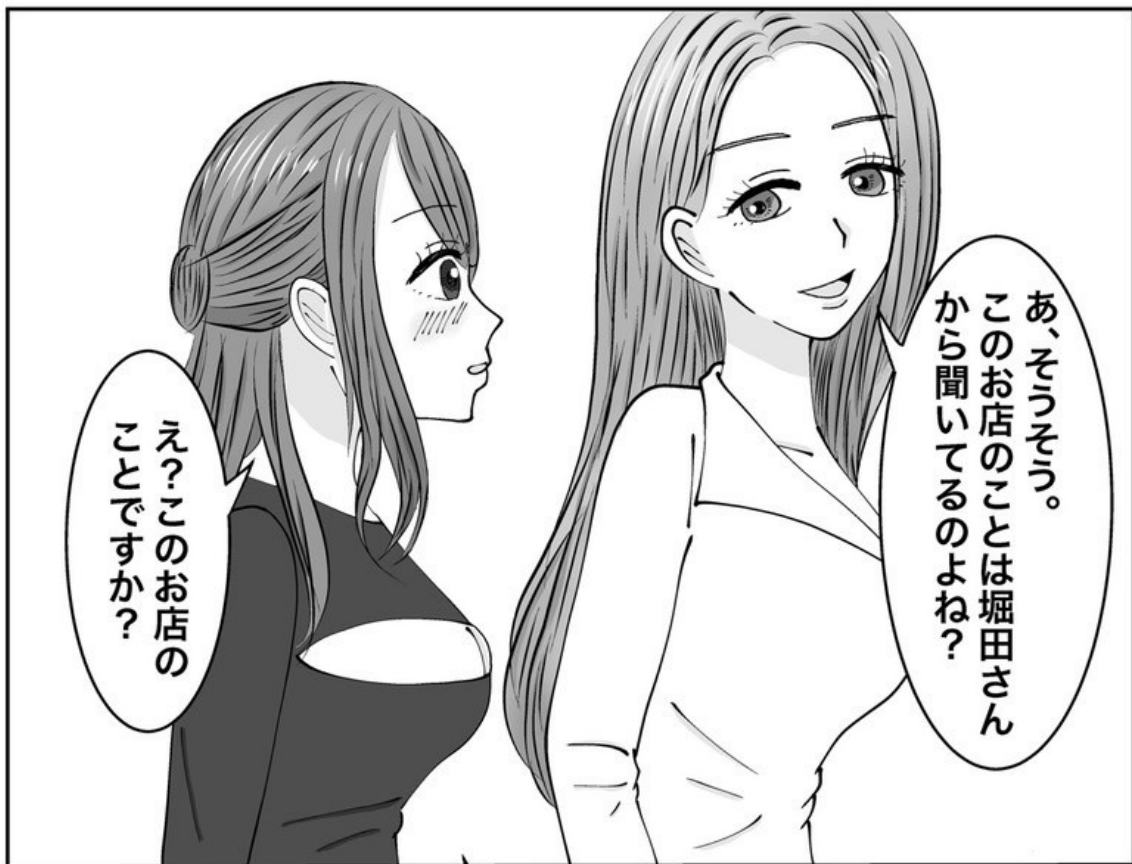




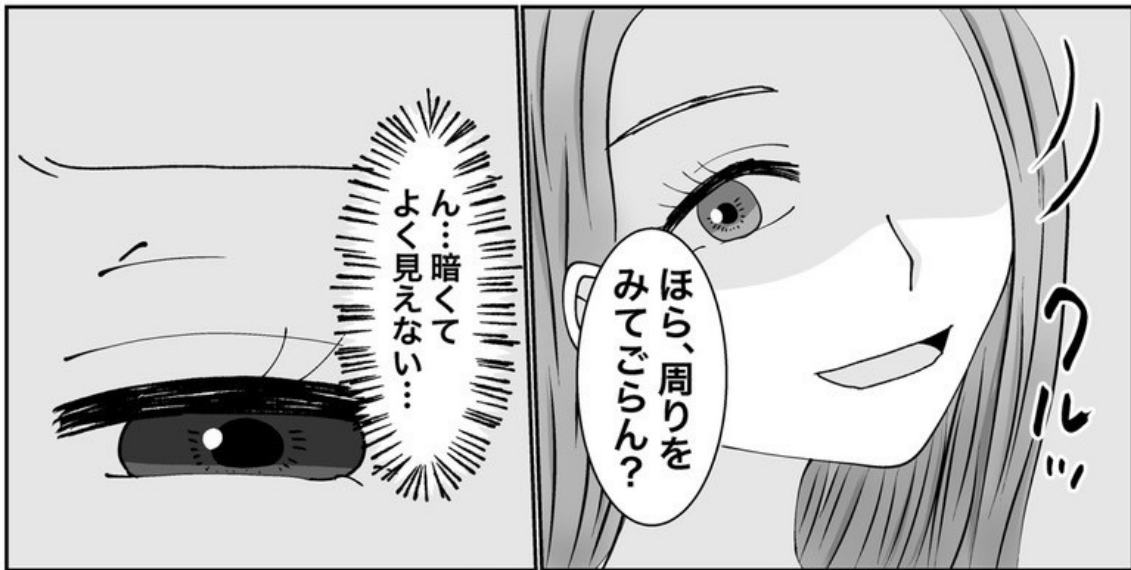


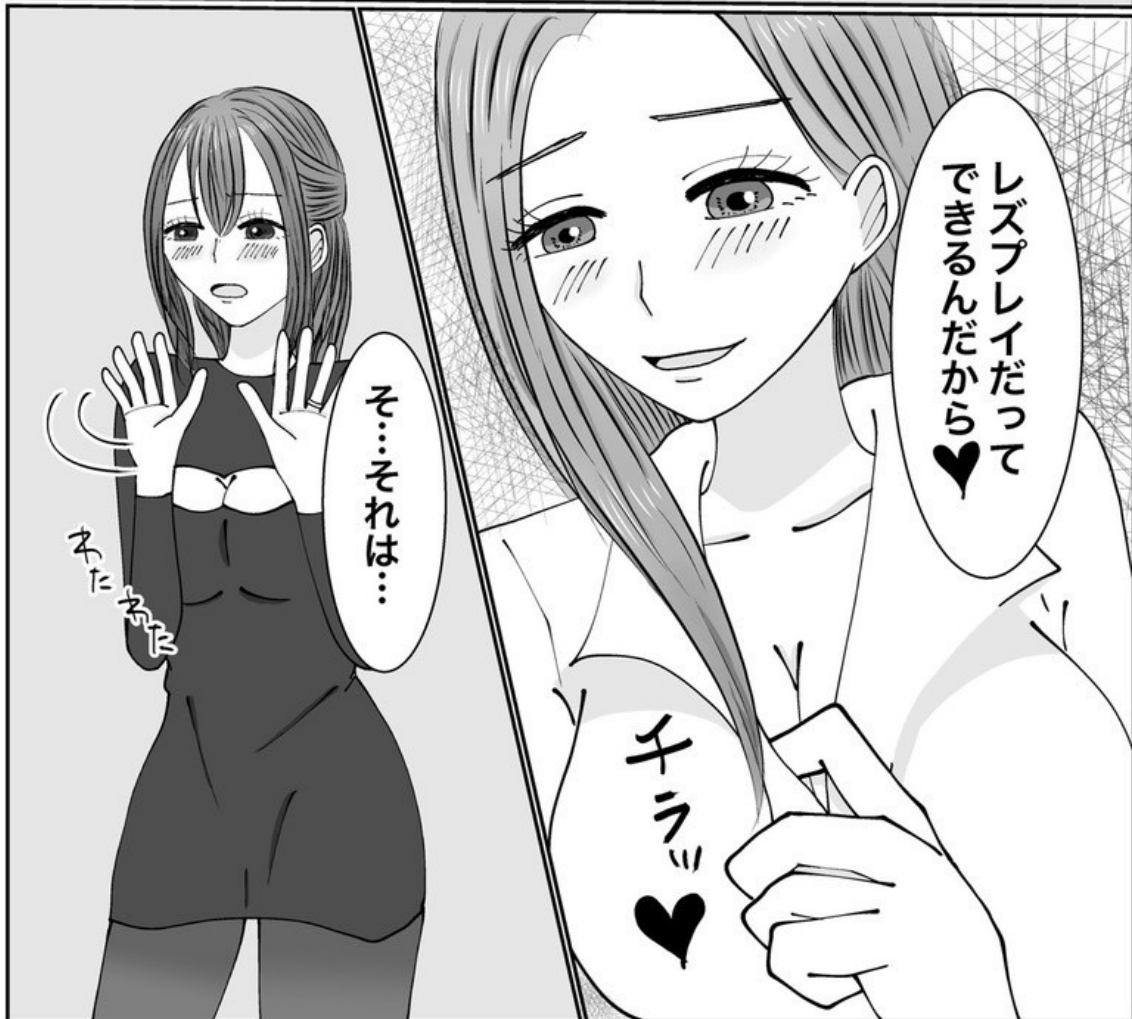


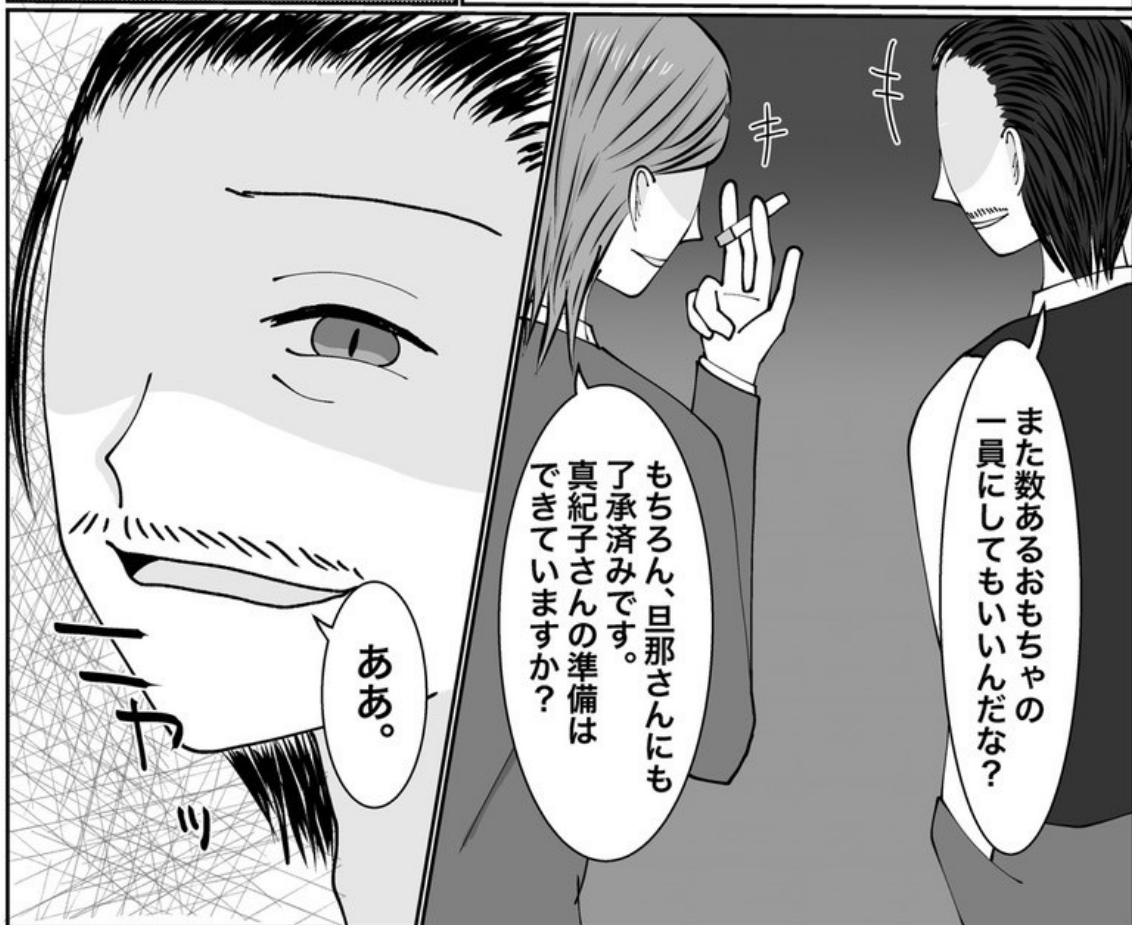


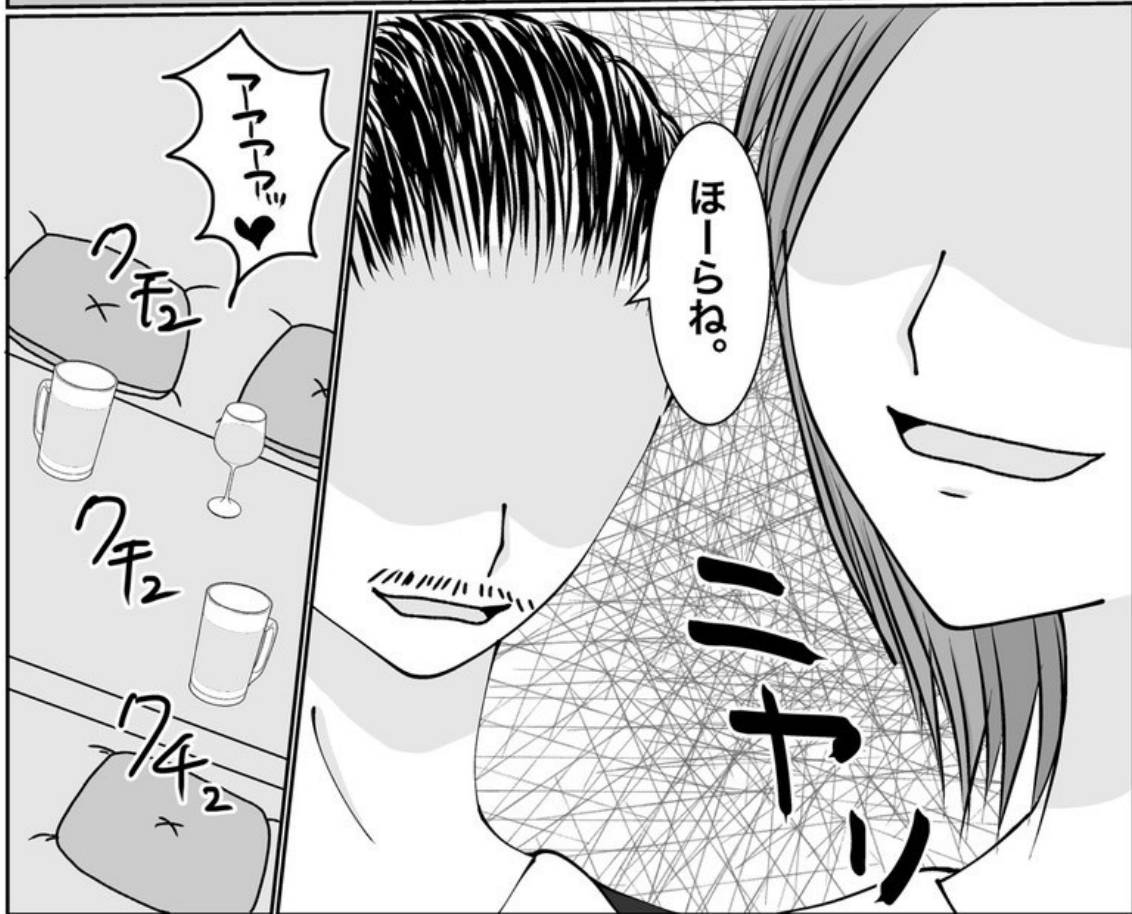






















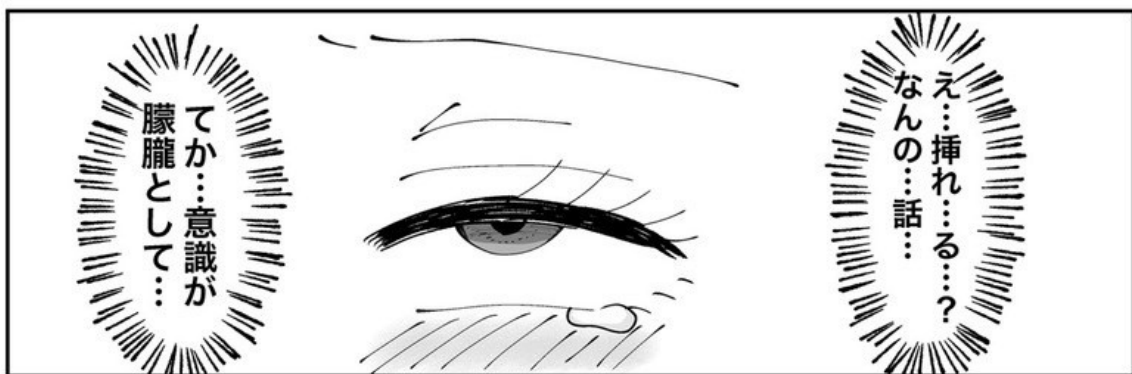


フフフ。仕上がってきたわね。
社長。もういい頃合いですよ。

2人とも
なくにしてるんだい？

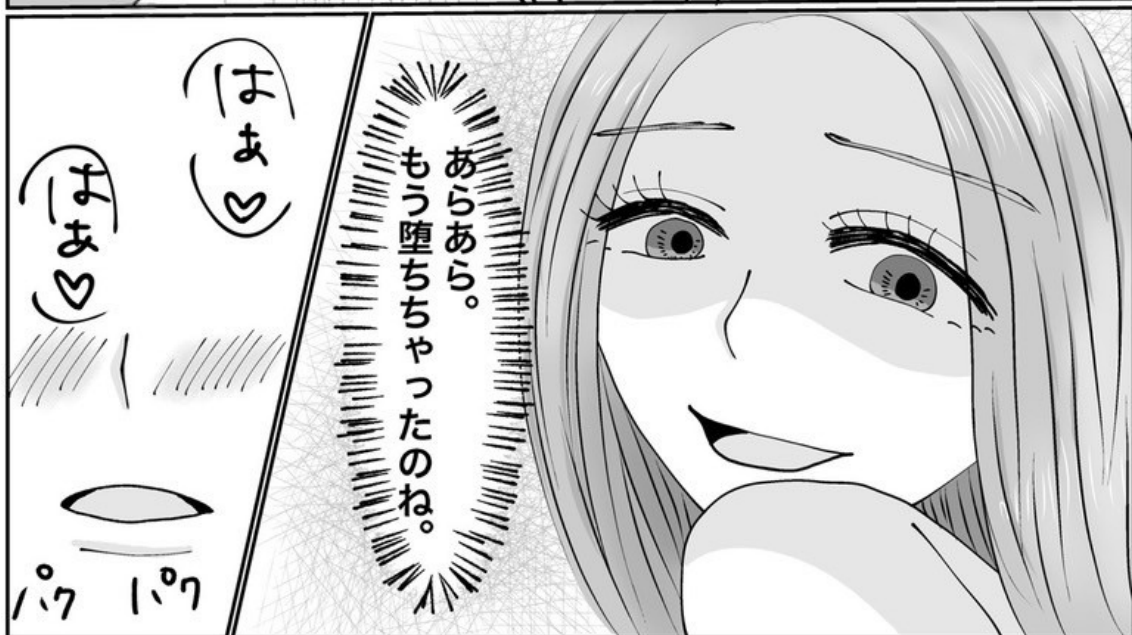
ああ。ご苦労。
じゃあ俺も遠慮なく
挿れさせてもらっつよ堀田くん。

くくく。あんまり
壊さないでくださいね笑











どおしたのお？
ミキちゃん。

も…もっと…いずす…

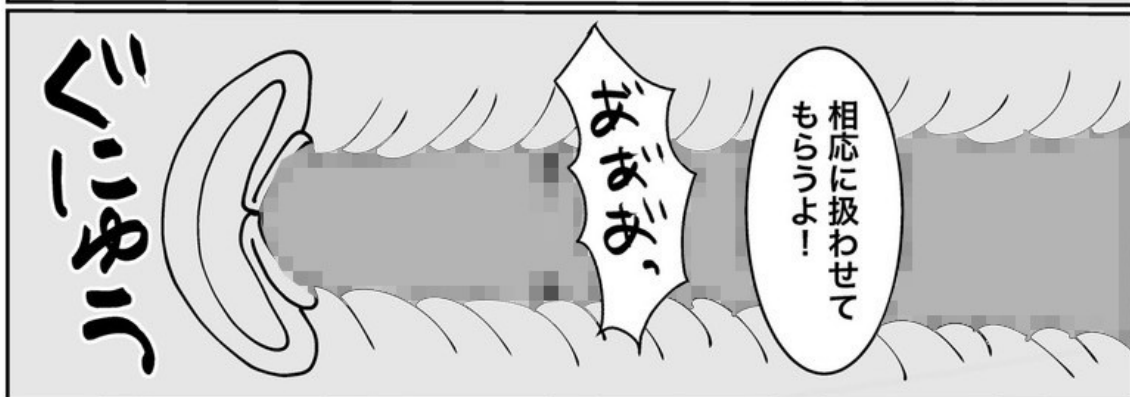
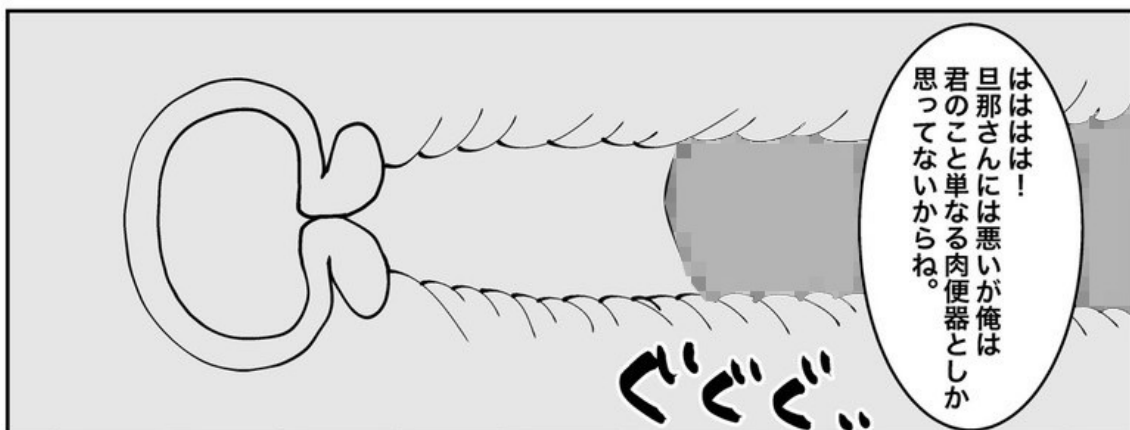
ドキ ドキ

このおちゃんぽも
大好き：♥

え？聞こえないなあ。
ほら、ハッキリ言わないと

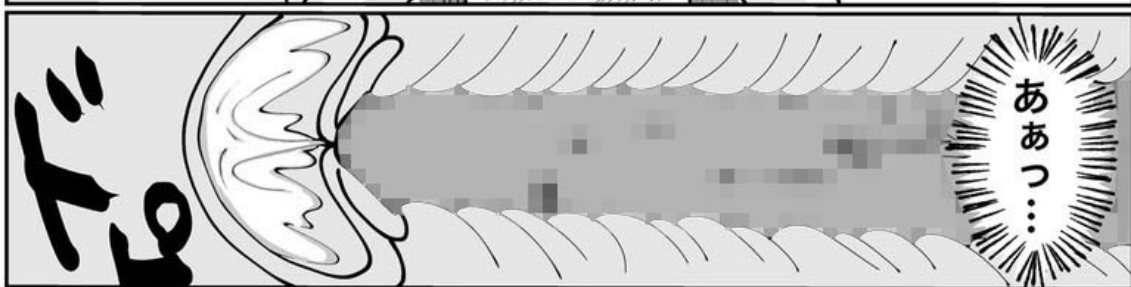
もっと…たくさん
突いてほしいです…。

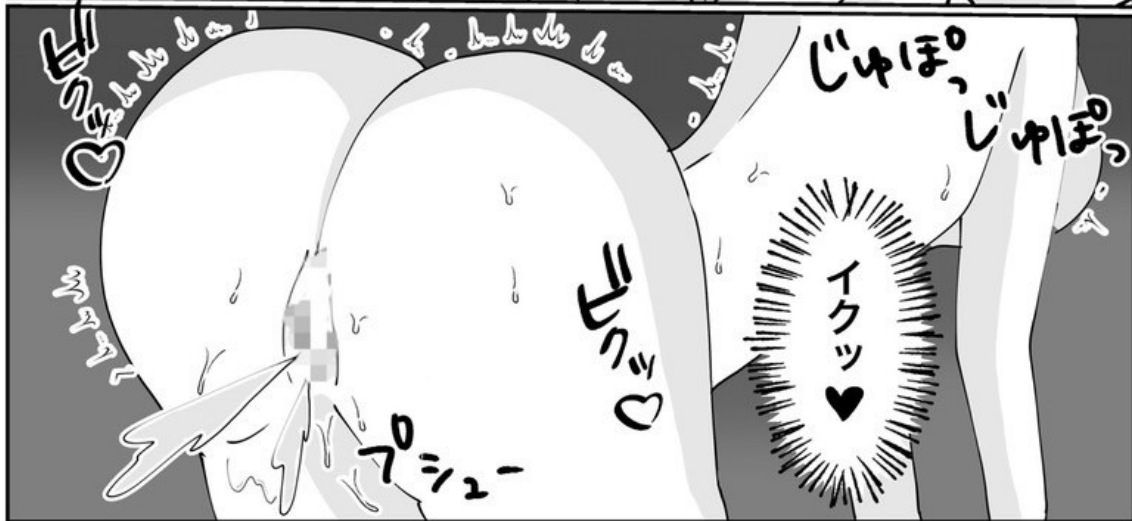


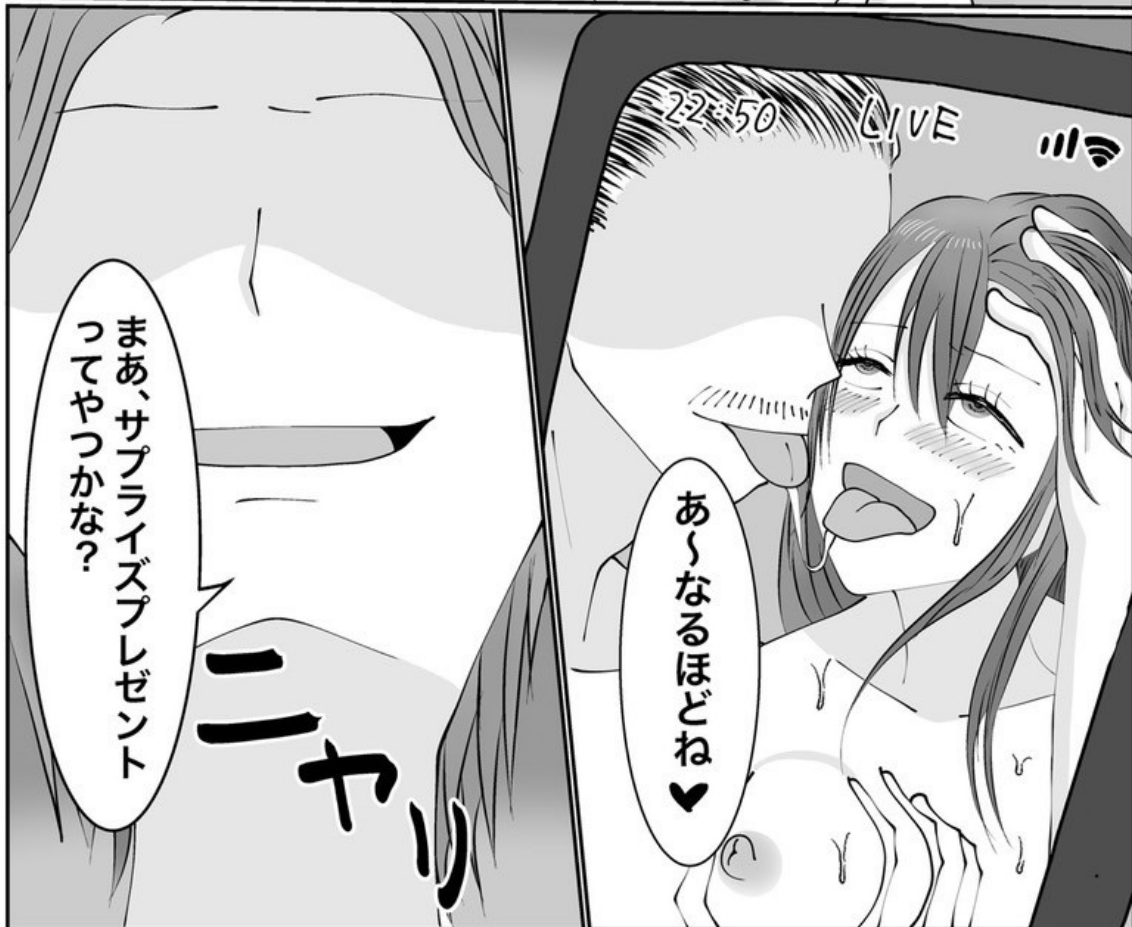
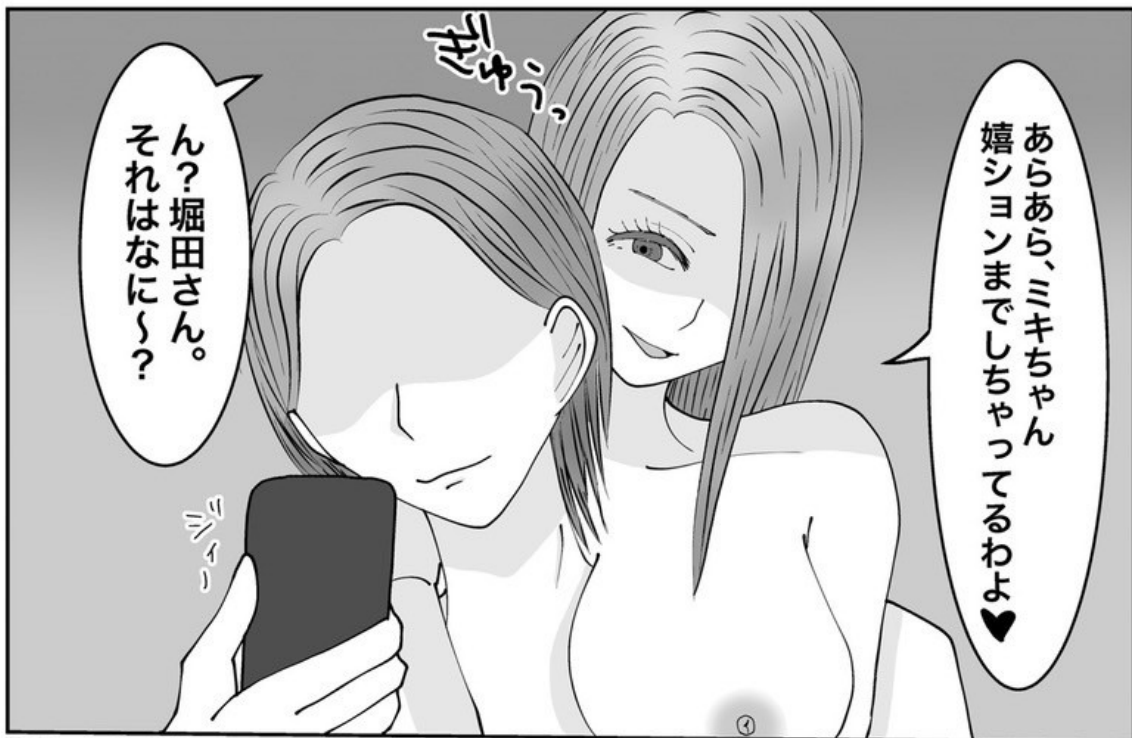












真紀子さん、動画撮影
お願いしてもいいですか？

ミキ、そろそろ
中が恋しく
なってきただろ？

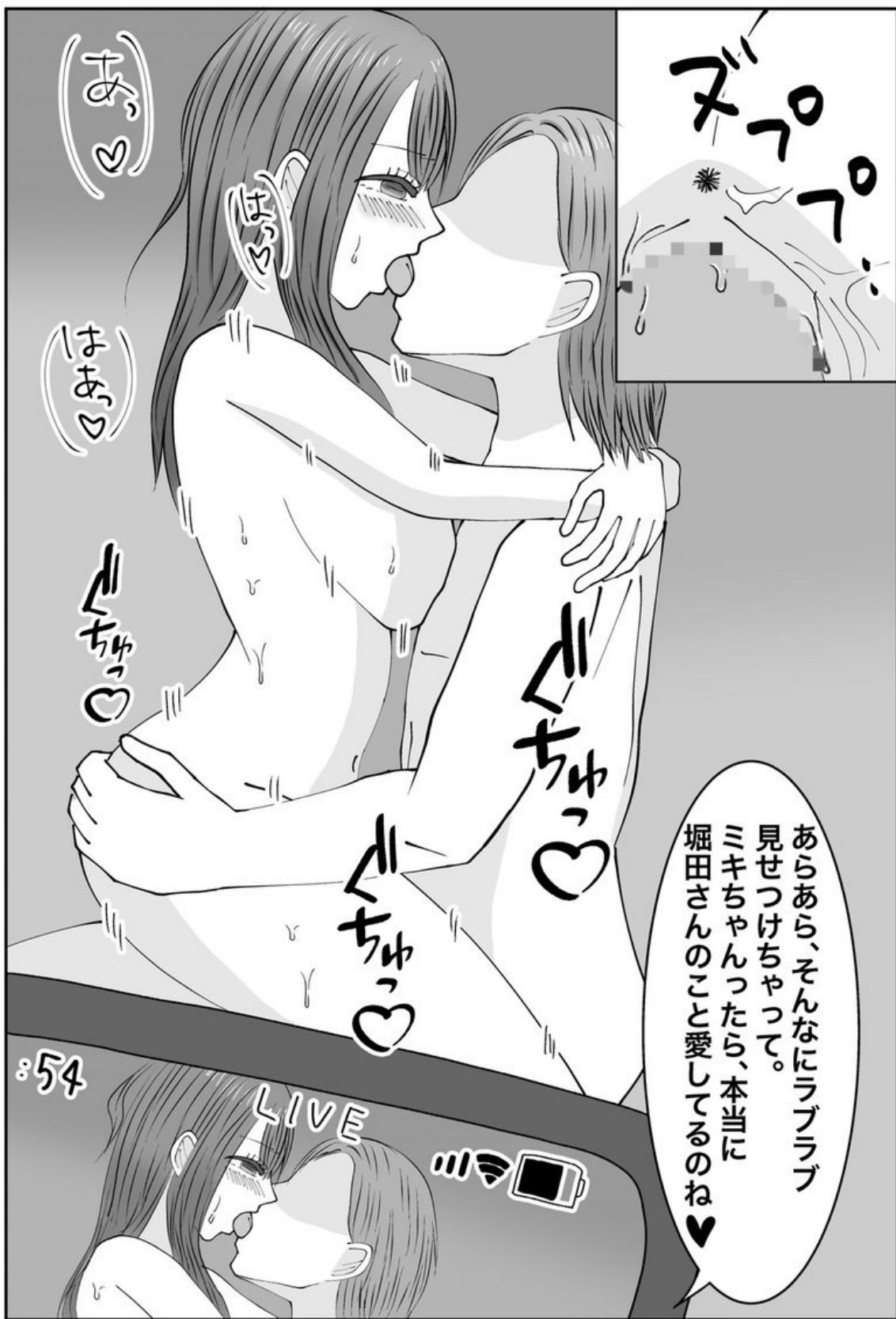
ほら、本命の
チンポだよ。



はっ♡

堀田さんの…♡
堀田さんので満たされたい♡

はっ♡



あゝ♡

はぁ♡

ぐゅ♡

ぐゅ♡

ぐゅ♡

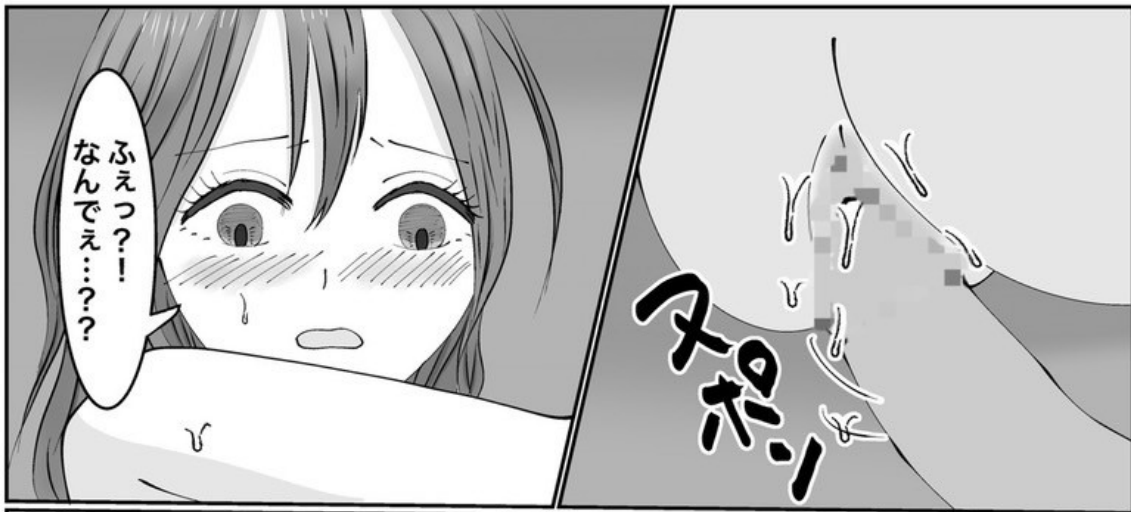


:54

LIVE



あらあら、そんなにラブラブ
見せつけちゃって。
ミキちゃんったら、本当に
堀田さんのこと愛してるのね♡



あなた…ごめん…
わたし…あなたよりも…



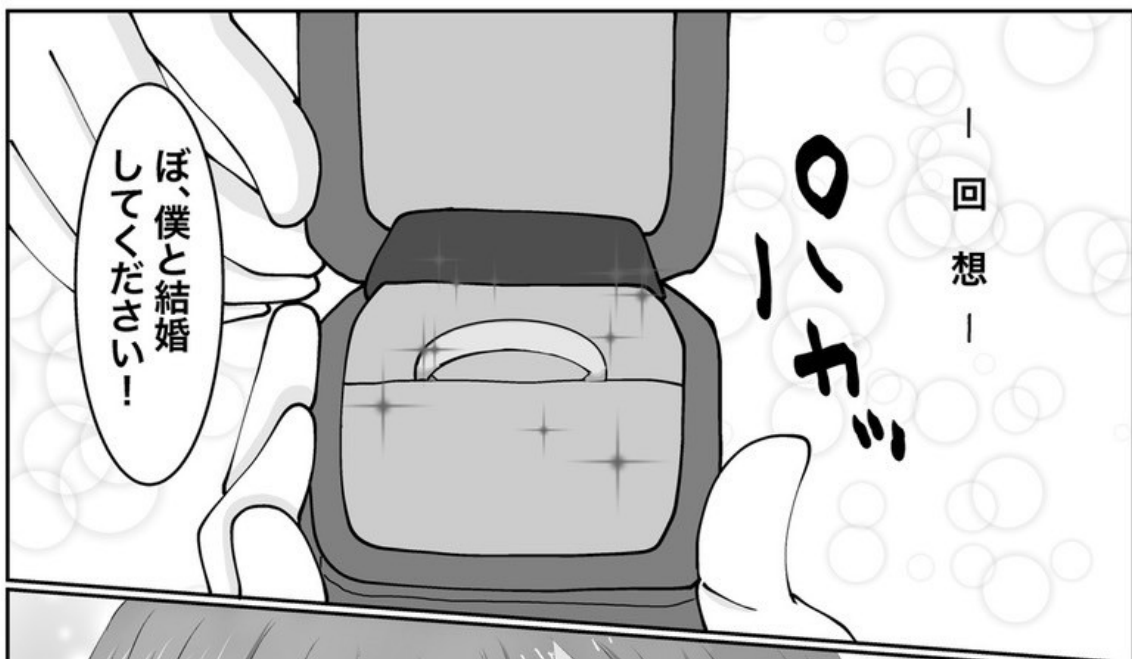






夫婦が愛を誓った記念日に私は、
堀田さんから、いや、妻から
最高のプレゼントを頂いた。

全身が精液で埋め尽くされ、
岡崎社長とセックスをし、
堀田さんに愛の告白をし、
最終的には中出しまで懇願し…。



無造作に転がり落ちて知らぬ
男たちの精液で埋め尽くされ…



愛する女は優秀なオスの精を自ら求め、
幸せそうな表情で受け入れていた

あっ♡アッ♡♡

堀田さんからの連絡も
こなくなった…。

でも…そういえば…
最近も随分と打ち合わせが
多いみたいだけど…

「なのでこれからは、

「肉便器らしく
調教していきますよ。」

はは…まさか…な…



